

活動グッズの選び方(ボーイ隊)

●衣類関係

★活動着

所定の作業帽とネックチーフ以外は原則自由です。屋外でも林の中等では、けが・虫刺されの予防のために、長袖・長ズボンを着用することをお勧めします。

★帽子

ボーイ隊では、ベレー(正帽)、ハット(副帽)があります。日連・県連の公式行事では、ベレーをかぶります。現在は、ハットをかぶることはほぼなくなってしまいました。昔は逆だったのですが。

作業帽は、野外活動時や作業の時にかぶります。野球帽のようにつばのあるものをかぶります。ジャンボリーやキャンポリーに参加するときには、よく大会キャップが配られますので、それを使用するのがいいでしょう。



●活動関係

★靴

野営靴	キャンプで履く靴を言います。履いたり脱いだりが楽な、通常の運動靴で問題はありません。できれば撥水・防水加工がしてあるものの方がいいですね。
サンダル	安全上問題があるので活動用の靴としては不可です(活動でサンダルが必要な場合は別途携行品として指示します)できるだけ、かかとにもひもがあつて脱げにくくなっているものを選んで下さい。
雨靴	長靴のことです。特にキャンプには必要です。新規に購入する場合は、靴底(ソール)がブロック状のすべりにくいものをご購入してください。
トレッキングブーツ	ボーイ隊以上では、長距離歩く場合やトレッキング等に使用します。足の保護・安全の確保の意味からも是非ほしいですね。



★懐中電灯

おすすめは、単3電池を2本程度使用のライトです。単3電池は入手しやすく、LEDならば電池の持ちも十分です。

右は、ミニマグライトですが、これに類似したものは、結構出てきています。

また、手持ちタイプ(ハンディライト)か頭に取り付けるタイプ(ヘッドライト)かは、意見が分かれるところですが。ハンディライトは、テントの中やちょっとした用足しに便利だし、かさばらないので持ち運びに便利。ヘッドライトは、両手が開放されるので、作業や移動の時に便利。むむむ、困った。まあ、お好みで。いずれにしても防水タイプのものを選んでください。



★小型シャベル

園芸用のもの(100円ショップにあるもので十分)をビニール袋に入れるか、専用ケースを作って持参します。既設のトイレがないキャンプ地でのトイレ用(この行為をキジ撃ち(男性)、花つみ(女性)と称します)に必要です。トイレのないキャンプ場に行く時は、改めて指示します。最近では、あまりそういうキャンプ場はありませんが。



★水筒

大きな魔法瓶タイプのもは重くてかさばるので不可(小型のものは OK だけど容量が足りないかも)。ハイキング等短期間であれば 500cc のペットボトルも代用可です。

冬季のキャンプでは、お湯を入れて「湯たんぽ」として使うこともあるので、アルミ製の(例えばシングルボトル)ものや、ホット用のペットボトルもいいかも。魔法瓶タイプじゃ湯たんぽにならないよ。



★シルバコンパス

ハイキングで必要になります。「シルバー」コンパスでなく、シルバコンパスです。タイプ 3 または、それと同等かより高性能のものを用意してください(右写真)。丸いいわゆる「方位磁石」(←)ではダメです。スカウトの読図作業では、1度単位での精度が必要になりますので。



★雨具

雨具に関しては、良いモノを揃えることが大切です。

材質にはいろいろありますが、雨の中の作業を考えるのだったら、防水透湿性素材であるゴアテックス(¥20,000 以上)やドライライトテック(¥10,000 程度)素材のものを選びましょう。形はレインスーツ型、そう上下セパレートのもの揃えてください。靴を履いたままでも脱着ができるように配慮したものもあります。初夏から初秋の暑い季節のキャンプだったら、ポンチョ(スカウト用品、右下¥1,200)もいいでしょう。ちょっとしたテント周りの作業には十分です。

昔からあるゴム引き合羽や PVC コートのものは、汗の逃げ場がない(水蒸気となって外に逃げられない)ので、汗によって服が濡れてしまいます。服が濡れたら、着替えなくてはならないので、余分な着替えが必要になる・・・ということは、持ち物が多くなるということに繋がります。

成長期のスカウトには、高価なもの(防水透湿素材)を揃えることは、悩むところです。個人的な意見としては、ポンチョを一つ持っておくのがいいかな、と思います。ただ、雨の続くようなキャンプだと、防水透湿素材のレインスーツ型が一番望ましいことは確かです。



★防寒着

天候はいつ変わるかわからないし、スケジュール通りに行動できずにビバークするかもしれない。そんな場合に必要となります。

ハイク時に求められる防寒着とは、風を通さないことが第一、次に保温効果となります。防風については、雨具を利用することもできるので、その場合は保温面を考えよう。

キャンプの場合は、保温効果を優先して考えましょう。保温のシステムをよく考えて、身体の周りにデッドエアの層を作れる、そんな素材のものを選びましょう。ウールは天然の優れた保温素材で濡れても保温力がありますが、かさばるのが欠点。フリースは軽くてコンパクトになり、濡れても繊維そのものに浸みこまないのですぐに乾く。しかし防風性は弱い(最近防風タイプのものも販売されている)。ダウンは非常に軽くてコンパクトになる優れた素材だが、濡れるとアウト。総合的に見て、アウターが防風性のある素材でインナーがフリースになっているものを選ぶのがいいと思います。



★軍手と手袋

今、大量に出回っている軍手は「綿 100%」ではなく化学繊維が含まれているため、焚き火や炊事などで熱を加えると溶けてしまいヤケドをしてしまうことがあるので注意してください(真っ白なタイプ:写真下左)。火に対して使うならば「綿 100%(ベージュ色のもの:写真下右)」か革製の手袋を用意しましょう。野営作業のために1つ革製の作業手袋を用意することをすすめます。革製手袋はホームセンターや作業用品店等で 2,000 円弱で買えます。



★折り畳み椅子

これは、大型のものではなくて、座面が 20~30cm ほどの高さの背もたれ付きのパイプのX脚のやつです。自分の足の長さに応じて大きさを考えましょう。

食卓の高さが 60cm 程度であることと、小さいものには体重(加重)制限があることを考慮して、それなりのものを用意してください。



★食器

ボーイ隊では、アルミ製の食器もしくは小型コックヘルの使用を勧めています。ベンチャー年代からは、プログラムとして個人での調理を導入しますので、用具についても直接火にかけられる、小型コックヘルが必要になります。

取りあえずは、アルミの食器で十分です。

写真上→スノーピーク「パーソナルクッカー#3」(¥2,400)

写真下→スカウト用品「アルミ食器」(¥1,575)



★スプーンセット

我々の間では、別名「武器」と呼んでいます。これもキャンプ等で使用します。また、箸が付属していない場合は、別途箸を持参しましょう。皆が同じモノを使っていますので、必ず油性マジックで名前を書いてください。

正直なところ、このセットのナイフとフォークはほとんど使ったことがありません・・・と言うことは、家庭にあるスプーンと箸でも十分って事ですね。



★ナイフ

ナイフといってもスプーンセットのナイフではありません。作業に使うナイフのことです。団ではビクトリノックス社の NL シリーズのものを勧めています。これは刃をロックできるためです。また、ナイフの取り扱い方を指導する場合、ナイフの種類によって使用方法が異なるため、指導しやすいように団では、このシリーズを推奨しています。ピクニック（のこぎりなし）か、ラックサックあたりが、機能も多すぎず持ちやすく、長く使えると思います。

写真→ビクトリノックス「ラックサック NL」(@4,800)



●寝具関係

★スリーピングバッグ(シュラフ)

寝袋のことです。最近は安くて良いものが多数出ていますが、スカウトキャンプはオートキャンプではありませんので、自分で持っていくことを考えて、軽量、高性能、コンパクトのマミー型のもを用意してください。現在の隊の活動形態から勧めているのは「モンベル」のスパイラルバロウバッグ#3 です。もし、たびたび冬季のキャンプに出かけたり、寒がりの場合は、同社の「ダウンハガー」もあります。高価でもあるので、ベンチャーに上がってから検討してもいいでしょう。

ディスカウントショップのものは、やけに薄かったり、厚くても性能が悪かったりと、なかなか良いモノに巡り会えません。睡眠は、疲れをとり、明日の気力を養うものですから、快適な睡眠ができるように、できるだけよいスリーピングバッグをお勧めします。大事に使えば長く使えます。

寒い季節のキャンプでは、薄手のものは、寒さ対策としてスリーピングバッグの中に毛布を入れて使用しています。

写真→モンベル「スパイラルバロウバッグ#3」(¥11,800)



★マット

マットは、地面からの冷えや湿気を防ぎ、地表の凸凹を緩和するなど、快適な睡眠のために必要です。通常のキャンプだったら、表面がアルミ蒸着のエンソマット 60cm 幅のものでいいでしょう(ふつうのキャンプだったらこれで十分)。荷物のカサを減らしたい時はエアマット(エンソマットよりも重い)、より断熱製を求める場合はリッジレストのものがいいでしょう(ホント暖かいです)。

写真→カスケードデザイン「リッジレストマット:ロング」(¥4,000)



●入れ物関係

★小型ザック(ハバザック)

通常の隊集会やハイキング等に、必要なものを入れて持っていくときに使用します。ハバザックは、肩掛け式、背負い式のどちらにもなります。もちろんデイパックでもかまいませんが、容量が 20 リットル程度のを勧めます。



★バック(ザック, リュックサック)

呼び名は違っても同じものです。ボーイ隊以上は長期キャンプや移動キャンプをするため、アタックザックタイプのモノを奨めています。使用勝手は今イチです。また、3 ウェイパックと呼ばれる「背負う」「持つ」「肩から下げる」ことができ開口部が広いものが多数発売されています。これの方がテントの中では使い易いですね。移動を考えて身体にフィットした重さを感じさせない構造のものがいいです。容量はBSスカウトで 40~50 リットル、VSスカウト以上で 50~70 リットル。担げる重さ多くても体重の 1/3 までと考えてください。

最近では、3 ウェイパックにローラーが付いているモノも出ています。結構便利です。ただし、アタックザックに比べて重く容量対サイズの比は悪いです。海外派遣などには使いやすいでしょう。

写真上→モンベル「チャチャバック 45(45L)」(@12,800)

写真下→Eagle Creek「スイッチバックモジュラー26(69L)」(@30,450)



●・・・というわけで

・・・いろいろ思いつくままに、書き表してみました。制服以外は、必ずしもボーイスカウトの需品部の製品である必要はありません。ただし、ディスカウント店の安物には飛びつかないでください。まだまだ、安かろう悪かろうの粗悪商品がたくさんありますし、ボーイスカウトの使用目的・方法にそぐわないモノもたくさん出回っていますので。

また、集会等に持って行く前に必ずやっておいてもらいたいことは、「名前を書く」ことです。みんなが同じ様なものを使っていますし、なくした場合に所有者を特定できません。阿見1団の倉庫には、スカウトの忘れ物がたくさん眠っています。これらのほとんどは名前がないために持ち主がわからなかったものなのです(なくした本人も自分のものかどうかわからないのです!!)。リュックからパンツまで、すべてのものに名前を書いておいてください。

購入するにあたってのご相談はいつでも受けております(各隊の隊長までどうぞ)。